



ミャンマー連邦
Union of Myanmar



たばこ産業の特徴

- シガレットの年間消費量は125億本規模の市場である。
- People's Cigarette Ind. Management Committeeがシガレット市場の 66% を占めている。
製造数量は国営企業を含めて23億本（2002年）、消費の大部分を国境貿易による輸入に頼っている。
- ミャンマー独特のチェルーツ(bidiのような両切り葉巻)が多く消費されている。
- 国内シガレット製造の原材料品はかなりの部分を輸入に頼っている。

[1] 法規制等

健康注意表示

包かへの注意表示の掲載が必要。

成分表示

必要無し。

広告規制

ラジオ、テレビでの広告は禁止。

たばこ企業の自社キャンペーンは認められているために地元たばこ企業のビルボード広告が激しくなり、2002年6月からビルボード広告が禁止された。

喫煙規制

バス内での喫煙禁止。特定の公共の場所での喫煙は規制。

[2] 税制

物品税：	工場蔵出価格の	125%
輸入税：		300%

(出典 TMA)

[3] 喫煙者プロフィール

15歳以上の成人喫煙者率（2001年）

(出典 WHO)

男性 42.9%、女性 21.9%、平均 31.1%

[4] 市場概要

- 年間消費数量は125億本規模の市場である。
- たばこ製品にはチェルーツ (bidiのような両切り葉巻)、シガレット、葉巻がある。
チェルーツはミャンマー産葉たばこを用いた安価・低品質のたばこ (bidiのような両切り葉巻) で、零細企業が手巻きで製造している。
低・中所得層や農村部で需要が多い。
- 工場製シガレットの年間製造数量は約23億本しかない。
- シガレット製品の輸入は大部分が国境貿易で行われている。
- 輸入原材料を使用して製造される地元シガレットは、BATとの合弁工場で製造されている (2003年末にBATはミャンマーから撤退を決定)。
- Londonブランドの人気の高い。VegasブランドはインドネシアのSampoerna社がミャンマー国内で製造している。
Duyaブランドは国営企業製。シガレットではこれら3銘柄の人気の高く、国内シガレットの90%を占めている。
- シガレット製造には原料葉たばこを含めて、かなりの原材料品を輸入に頼っている。

シガレット統計データ (単位 100万本)

	1998年	1999年	2000年	2001年	2002年
製造数量	1,620	1,825	1,940	2,130	2,300
輸入数量	9,300	9,600	9,800	9,900	11,000
輸出数量	800	715	740	820	800
推定消費量	10,120	10,710	11,000	11,210	12,500

[5] 製品概要

- 国産製品のDuya：低所得層向け Vegas：低・中所得層向け、London：中所得層向け。
- 輸入シガレットで人気があるのは555、Marlboro、Mild Seven、Benson & Hedgesである。
- 輸入シガレットの平均販売価格は1包かで1.3ドルである。(2003年)

[6] 企業概要

国内たばこ企業は、第1工業省傘下にある国営企業People's Cigarette Ind. Management Committeeと複数の零細民間企業がある。年間製造数量約20億本。

BAT :

ロスマンズ社との合併により1999年にロスマンズのミャンマーでの事業を引き継いで、国営企業と合併事業をしていた。

2003年末に、軍事政権批判によるイギリス政府の圧力を受けて、BATはミャンマー事業の株の60%をシンガポールの投資会社へ売却し、ミャンマーから撤退した。

Sampoerna :

100%投資のミャンマー国内工場で製造・販売を行っている、インドネシアの企業。

製造銘柄: Vegas。

2001年の市場シェア

People's Cigarette Ind. Management Committee	66%
その他	34%

(出典 TMA)

[7] 葉たばこ概要

葉たばこ生産データ(単位 トン)

	1970年	1980年	1990年	1995年	2000年
生産数量	41,048	53,852	40,000	37,577	47,233